



## 新和会は市民の皆様の代弁者として 県都大津の未来を創造します。

**謹賀新年 幹事長挨拶**

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、輝かしい令和5年の新春をご家族お揃いで迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、長期化する新型コロナウイルス感染症、不透明さを増す国際情勢、また、先行きの見えない物価の高騰など、暗いニュースばかりが続きました。一方で、ワールドカップサッカー2022：カタール大会において、日本代表チームが2大会連続の16強入りを果たし、世代を問わず皆が一丸となってその奮闘振りに熱い声援を送るなど、久しぶりに明るい話題が国内を駆けめぐりました。

そのような状況の中、去る12月22日に全日程を終了した令和4年11月通常会議においては、新型コロナウイルス感染症対策経費、電気・ガス・食料品等の価格高騰対策経費などを盛り込んだ補正予算をはじめ、原料価格の高騰によるガス料金の上限改定に係る条例改正など、いずれも市民生活に直結する43議案を会派内で慎重に審議し、全議案を可決・同意いたしました。また、これまで会派として掲げてきた施策の実現に向けて総括を行うべく、残された議員任期を全うしたいと考えております。

今後とも、会派一丸となって取り組む所存ですので、更なるご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新和会 幹事長 仲野弘子



なかの ひろこ  
幹事長 仲野 弘子 本堅田在住

令和5年を迎え、道路インフラ整備、教育、環境の充実を目指し、今後とも皆様のご意見をお伺いしながら未来を担う子どもたちの為、市民の為に誠心誠意取り組んで参ります。



ばん たかあき  
議長 伴 孝昭 中央在住

市民の皆様信頼される議会活動に取り組むとともに、議員活動においては、住んでよかったと感じられる未来を見据えたまちづくりを目指してまいります。



にしむら かずのり  
副議長 西村 和典 伊香立在住

今年こそは!! 昨年コロナで始まりコロナで終わりました。コロナに打ち勝ち更なる発展する大津を目指して心機一転取り組み、夢のある大津を創ります。



はった けんじ  
副幹事長 八田 憲児 錦織在住

市民のみなさまの声を「聴く」ことを大切にして、12年間の議員経験で培った実績を活かし身近な議員として、その声を市政に届け実現できるように全力を傾注してまいります。



こうみづ まさつぐ  
副幹事長 幸光 正嗣 一里山在住

アフターコロナを見据え停滞するインバウンドや地域経済の活性化を図っていく必要があります。『未来ある大津』をしっかりと導けるよう与えられた使命を胸に全力で取り組みます。



つだ しんぞう  
幹事 津田 新三 本堅田在住

住み続けたい町大津を目指し、ハード、ソフト事業を相互に絡めながら、34万人大津市民の暮らしやすさに貢献出来るよう、どんな時も騒がず焦らず、堅実に取り組みます。



いうち りつこ  
幹事 井内 律子 湖城が丘在住

皆様に支えて頂き、日々の活動ができていることに感謝致します。令和5年を迎え、地域の為、医療・福祉等の課題解決に向け、今まで以上に活動して参ります。



かわむら ひろし  
政調会長 河村 浩史 馬場在住

昨年は、政調会長という役職をお預かりし、条例改正や意見書提出等の調整役として1年間、奮闘して参りました。新年度においても、全身全霊全力で取り組んで参ります。



とりの よしのり  
副政調会長 鳥井 義徳 下坂本在住

議員になり、4年が過ぎるところであります。今までに掲げてきた安全で安心なまちづくりを目指して、新たな気持ちをもって、よりいっそう努力してまいります。



かすがた ようすけ  
事務局長 笠谷 洋佑 真野在住

まもなく議員任期も丸4年を迎えます。これまでの活動を通じた課題について、責任世代として引き続き取り組んでまいります。変わらぬご支援を宜しくお願い致します。



かんだ けんじ  
広報委員長 神田 健次 南小松在住

新年を迎え議員生活に改めて気の引き締まる思いです。感謝の気持ちを持ちながらみなさまの声を市政に届けて美しい大津のまちを次世代につなごう。北部地域の自然環境の保全活用に努めて参ります。



ほそかわ としゆき  
副広報委員長 細川 俊行 日吉台在住

「対話と実行」をモットーに、教育、高齢者、障がい者など地域課題により一層取り組んでいく所存です。また、市民センター機能を充実し、地域と行政が力を合わせまちづくりを推進したいと考えます。

# 質疑・一般質問

※質問、答弁は一部抜粋です。  
詳しくは天津市議会ホームページをご覧ください。(令和4年11月通常会議)



副幹事長  
**八田 憲児**  
○教育厚生  
常任委員会委員  
○公共施設対策  
特別委員会委員  
錦織在住

## 文化財保護・史跡の公有化について

史跡保存に必要な用地の公有化を年次平準化した予算であるべきであるが、前市長時代は極端に少なかった。公有化率と予算額の推移と現状の課題を聞く。

**A** 平成24年から27年は平均5000万円、平成28年から令和元年は平均2800万円、令和2年、3年は平均4800万円、今年度は5400万円です。また、公有化するためには、土地の境界確定を行うために地図訂正などの用地処理が必要であり、また国庫補助金の確保等もあり、今年度は錦織遺跡と穴太庵寺跡の公有化を進めている。



幹事長  
**仲野 弘子**  
○議会運営委員会委員  
○施設常任委員会委員  
○ICT活用対策  
特別委員会委員  
本堅田在住

## 持続可能なまちづくりのための都市計画道路網の見直しについて

**Q** 都市計画道路3・5・102号出町線及び3・3・22号浜大津堅田線の計画線の直線化を今回の見直しに合わせて行うべきと考えるが、見解を伺う。

**A** 見直しにあたっては、交通量をシミュレーションにより比較した結果、線形の変形は行わないものとした。今後、将来の交通量が増加し、安全性確保のために速度規制や路面標示、標識設置なども考えられるが、そのような対策のみで対応できない場合は、線形の変更も含めて検討していく。



幹事  
**津田 新三**  
○議会運営委員会委員長  
○総務常任委員会委員  
○ゼロカーボンシティ  
推進対策特別委員会委員  
本堅田在住

## アフターコロナを見据えた本市の観光戦略について

**Q** 観光と経済産業の分野において相乗効果が出るような取り組みを講じていくべきだと考えるが、観光戦略の考え方と方向性を踏まえた見解を伺う。

**A** 大河ドラマの放映など、天津市をPRする絶好の機会を最大限に活かし、本市が掲げる基本方針に沿った効果的なプロモーション等の施策を進めていく。また、地元企業の海外展開による天津市の認知度の向上がインバウンドをはじめとする観光誘客につながると考えられることから、海外展開に向けた支援に関して滋賀県等の取組と積極的に連携していく。



副幹事長  
**幸光 正嗣**  
○議会運営委員会委員  
○教育厚生  
常任委員会委員  
○公共施設対策  
特別委員会委員  
一里山在住

## 教員による体罰や不適切な指導への対応及び防止について

**Q** 教育現場において子どもたちの健全な育成を阻害するような行為はあってはならないと考えるが、教育長の見解を伺う。

**A** 体罰等は、児童生徒の身体を傷つけるだけでなく、尊厳を傷つけ、その後の成長にも深刻な悪影響を及ぼす、決して許されるものではなく、絶対にあつてはならない行為である。教員の行為や発言が子どもたちに大きな影響を与えるということをしっかりと意識させるよう指導するなど、体罰等の根絶に向けた取組を徹底していく。



政調会長  
**河村 浩史**  
○生活産業  
常任委員会委員  
○公共施設対策  
特別委員会副委員長  
馬場在住

## ふるさと納税とふるさと住民制度について

**Q** ふるさと納税の寄付金の使い道として、個別項目に各学校まで選択できるようにする等、選択肢を見直す考えはないか。また、ふるさと住民制度を新たに導入する考えはないか。

**A** 寄付金の使い道の選択肢の見直しについては、寄付者の選択肢の傾向等を踏まえ、使い道の選択肢を増やすこと等、検討していく。また、ふるさと住民制度については、人口減少社会にあつて地域の活力を維持するため、関係人口を創出していくことは重要で、今後他都市における同制度の導入状況等を含め調査研究していく。



幹事  
**井内 律子**  
○議会運営委員会委員  
○施設常任委員会委員  
○公共施設対策  
特別委員会委員長  
湖城が丘在住

## 大津市における不登校の児童・生徒に対する支援について

**Q** 本市ではフリースクールに通う子どもへの保護者に対して、補助金は導入されないのか見解を伺う。

**A** 本市は公的な施設として、教育支援ルーム「ウイング」を市内4か所で開設しており、不登校児童生徒保護者の通所希望も多いため、まずは「ウイング」を中心に学校復帰や社会的自立に向けた支援を行っている。現時点では、補助金等の支援は予定していないが、フリースクール等との連携など研究を継続していく。



事務局長  
**笠谷 洋佑**  
○総務常任委員会  
副委員長  
○ICT活用対策  
特別委員会委員  
真野在住

## 地域の防犯カメラに対しさらなる財政的支援を

**Q** 子どもや高齢者の見守りにおいては、これまでの登下校見守りや青バトによる活動に加え、近年防犯カメラ設置への期待が高まっているが、加入率の低下が課題となっている自治会を設置主体とする維持管理は、電気代・記録媒体の価格高騰や財源の公平性の観点から課題がある。公益性の高い事業であることに鑑み、市は更なる財政的支援をすべきでは

**A** 市内に新たな防犯カメラの設置を求め、声も多いため考慮しつつ、まずは自治連合会へのアンケート調査結果を分析していく。



副政調会長  
**烏井 義徳**  
○総務常任委員会  
副委員長  
○ICT活用対策  
特別委員会委員長  
下坂本在住

## 市内に点在する児童遊園地について

**Q** 令和4年度は、地域参画による児童遊園地の管理に向けて一部の地域で試行事業をされているが、その課題や成果を聞く。

**A** 地域参画による児童遊園地の管理に向けた試行事業について来年度からの地域参画モデル事業に向け、市と地域の役割分担や費用負担のあり方などについて地域の団体と詳細な協議を行っているところであり、課題と効果についてはリスク分担など地域団体との調整に時間がかかるが、地域のニーズに応じたきめ細やかなサービスが期待できるものと考えている。



副広報委員長  
**細川 俊行**  
○生活産業  
常任委員会委員長  
○ゼロカーボンシティ  
推進対策特別委員会委員  
日吉台在住

## 子ども若者総合相談窓口の人員の体制の充実について

**Q** 現在の相談員の体制は、常時相談員の配置が日平均1.4人、その業務内容は、単に相談を受けるだけでなくアウトリーチとしての支援も行っている。相談件数の増加及びその対応等から、相談員の人員体制の改善が必要であるが、見解を伺う。

**A** 平成29年10月の相談窓口の設置以降、令和3年度に相談体制の拡充を図った。それ以降も相談件数が増加し、相談の内容も、関係機関等への同行や家庭への訪問を必要とするケースや長期に渡る相談ケースが増え、これらの状況と今後の推移も注視し体制整備について検討する。



広報委員長  
**神田 健次**  
○教育厚生  
常任委員会委員長  
○ゼロカーボンシティ  
推進対策特別委員会委員  
南小松在住

## 市民の安全を守るため管理者不明橋への適切な対応と過去の事例について

**Q** 河川施設の管理は防災の観点からも非常に重要であるが、点検や補修の責任主体が決まっていない管理者不明橋の存在は安全管理の面で問題があると考えている。今後の対応と、過去の事例について伺う。

**A** 日常のパトロールや河川管理などで管理者不明橋の存在は認識しているが、数は把握していないため、まずは河川法に基づき本市が管理する準用河川から確認作業を進める。過去の事例は農業従事者を目的に設置されたが老朽化により、農業関係者等により注意看板が設置された。



FAX 077-521-1010  
TEL.077-528-2624

※会派議員控室の為、応答できない場合がございます。ご了承下さい。

新和会 検索 otsu-shinwakai.com

新和会ホームページ YouTubeチャンネル



市政報告は  
新和会Youtube  
チャンネルにて  
配信中です。

私たち新和会に皆さまのお声をお寄せください